

## 難易度・効果シート

	着手容易	←→	着手困難
効果大	さっそくやる		長期的
	やってみる		
効果小			

# 実行策対策シート

部署	N <sub>o</sub>	実効策(研修会で出された提言)	り	誰が	何を	どのよ うに	備考
教科		1つ成長している点を見つけようとする視点を持つ。					
教科		(生徒が)小ステップの目標を持つ。					
教科		問いかける。考えるきっかけを作る。考える力を付ける。答えを求める話し方を心がける。					
教科		「できる」「楽しい」感得させるために、簡単な問題から解かせる。					
教科		話し合い、教え合いを多く行う。グループ学習など。					
教科		自分で参考書・問題集を選ぶ。					
教科		課題を減らし、自分で足りないところを見つけ、学習していく力を少しずつ付けていく。					
教科		自分で学習や課題の計画を立てさせる。					

# ビジョン展開シート 数学

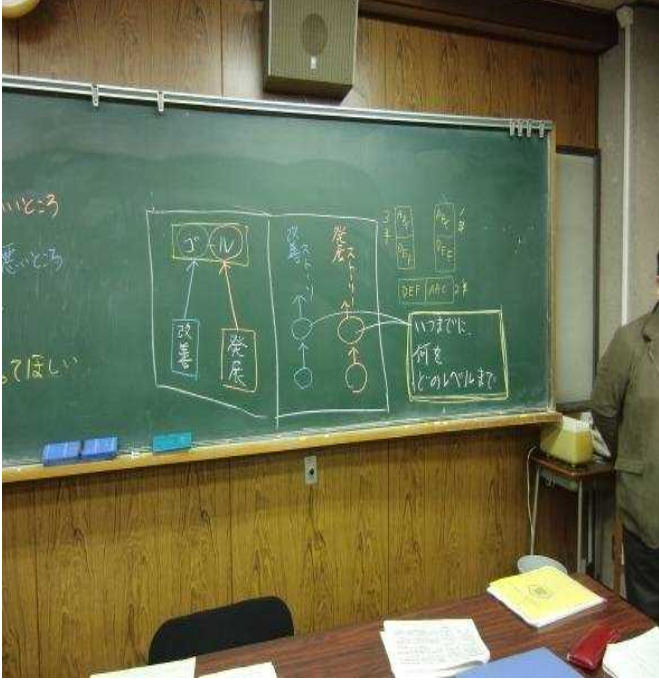
中期目標	目指す姿と現状	短期目標	目指す姿と現状	具体的な取組内容(実施形態・方法)	予想される変化や反応(誰に、どんな)	取組に対する評価基準	取組完了後の対応や次の手立て
	<p>目指す姿(求める具体的な姿や状態) 予習を中心とした数学の学習ができる。興味を持って数学の授業に臨むことができる。自信を持つ。物事を数学的に捉えるとともに、数学的に考える。</p>		<p>目指す姿 復習を中心とした数学の学習ができる。やるべき事はやれる。授業中だけでも考えている。援助があれば、数学的に考える。</p>	<p>①こまめに小テストを実施し家庭での学習時間を確保させる。 ②毎回、生徒に公式を確認する。 ③応用問題についても必要な公式を全て確認する。 ④解く時間は、机間指導をこまめに行い助言する。解説時には、全ての生徒をこちらに集中させ、要点を絞って解説する。</p>	<p>①基礎の確認の学習が定着してくる。 ②簡単な問題を解けるようになる。 ③難しい問題も、基本事項の組合せで解けることを実感する。 ④解く時と聞く時のけじめがつけられる。</p>	<p>①小テストに合格できるか。 ②簡単な問題が解けたか。 ③考えて聞いているか。 ④けじめがつけられているか。</p>	<p>①次の小テストの範囲とポイントを予告する。 ②③公式が答えられなかった生徒に、後日同じ公式を確認する。 ④解説時に、こちらに集中させられなかったら、時間を取ってでもこちらを向かせる。決して譲らない。</p>
	<p>現状 予習は殆どできない生徒が多い。数学に興味を持っていない生徒が多数いる。自信のない生徒もかなりいる。物事を数学的に捉えられない生徒が多い。</p>		<p>現状 復習もできない生徒がいる。宿題など、最低限のやるべきことができず、ためてしまっている。考えず、実質授業に参加していない生徒もいる。</p>	<p>⑤「なぜ?どうやって?」など、問い掛ける。問題解決のプロセスを評価する。 ⑥問題文から得られる情報を一つ一つ提示する。また、問題文を分解し、一つ一つかみくだく。</p>	<p>⑤覚えるのではなく、理解できるようにする。 ⑥考えるためのハードルを越えられ、考えて解き始める。</p>	<p>⑤論理的に説明することができたか。 ⑥問題解決に取り組みだしたか。</p>	<p>⑤考え方のつながる問題を次に問い掛ける。 ⑥後日、ノーヒントで解く機会を与えられると良い。</p>
				<p>⑦授業中の問題演習の際に、近くの生徒同士で答を確認させる。 ⑧数学を苦手とする生徒が多いクラスでは、簡単な基本問題の部分では問題を多めに用意し、普段なかなか答えることのできない生徒を中心に当てていく。</p>	<p>⑦自分の考えを相手に伝えるため、よく考えるようになる。 ⑧解けたことにより、達成感を味わう。</p>	<p>⑦相談しているか自分の考えを述べているか。 ⑧答えることができたか。</p>	<p>⑦答や解法が違う場合に、話し合う時間を取る。良い話し合いを拾い、全体に披露する。 ⑧やりやすい宿題を明示する。</p>

# ビジョン展開シート 生徒指導部

中期目標	目指す姿と現状	短期目標	目指す姿と現状	具体的な取組内容 (実施形態・方法)	予想される変化や反応 (誰に、どんな)	取組に対する評価 基準	取組完了後の対応や次 の手立て
	<p>目指す姿(求める具体的な姿や状態) 学校生活における基本的な生活習慣の確立と倫理観・規範意識の育成を踏まえ、自己指導能力の育成。 物事を主体的に判断し、自主的に活動していく力の育成。</p> <p>現状 女子のスカート丈が短いなど、適切に制服を着ることが出来ない生徒がいる。規範意識の欠如、ルール遵守の精神にかける生徒がいる。主体的に判断していく力が欠ける。自己管理能力が育っていない生徒も多い。</p>	<p>目指す姿 少なくとも「身だしなみ確認週間」では、しっかりした服装ができるようにする。生徒が中心となり、あいさつ運動を展開する。積極的なMSリーダーズ活動の展開。</p> <p>現状 「身だしなみ確認週間」がなかなか機能していない。(身だしなみを考える契機とはなっている) 上記に関して指導の基準、方法が曖昧である。生徒の自主的な活動を促す場や、主体的に判断して行動していく機会が設定されていない。(少ない)</p>	<p>身だしなみに関して 来年度より、キップ制をとり、違反した生徒にペナルティを課す。 (案)キップ制を取り入れた理由、とりいれなければいけない理由を生徒に全校集会等で話し、試行期間を1ヶ月ほど設ける。また「何が違反なのか」「ペナルティは何か」を明確にする。基準をはっきりさせる。</p> <p>身だしなみに関して 来年度1年生より、制服がマイナーチェンジされる。保護者、生徒、職員に制服着こなしの基準、ルールを確認し、共通認識をもつ。</p> <p>あいさつに関して 例えば、生徒会と連携して月に1週間程度クラスが計画して、あいさつ運動を展開する。その方法はクラスに任せる。継続的に年間を通して行う。MSリーダーズ活動でも生徒に任せられないか? またその企画を生徒会が審査し、全校表彰などできないか?</p> <p>交通安全、ネット・携帯電話、人権等に関する講話を実施する</p>	<p>多少の?生徒からの反発が考えられる。納得できない生徒がでる。</p> <p>保護者からの質問、意見等あるかもしれない。</p> <p>意外とうまくいくのでは?生徒から面白い企画がでそう!生徒会や、生活委員会も活躍できるのではないかと思う。 多くの生徒が知識の幅を広げ、考える感性を身に付けることができる。倫理観・規範意識を育成できる。</p>	<p>身だしなみが改善されたか、学校職員アンケートを実施する。学校評議会や育友会等で評価していただく</p> <p>上記と同様</p> <p>全校生徒、教職員、保護者等で評価していただく。</p> <p>生徒や職員に対してアンケートをとり、まとめる。</p>	<p>特に新入生に対する指導を徹底し、学年順送りで良くなっていくことを目標とする。</p> <p>職員も、生徒も継続できるように、部会、職員会議など、できるだけ短いスパンで評価する。</p> <p>評価してうまくいけば、年間の恒例行事として位置づける。(生徒指導部か、特別活動?)</p> <p>指導項目を毎年、適切に判断する。</p>	

## 研究指定校の実践 校内研修会 (2回目)

- ▶ 各学年会の教員を2つに分ける。  
6~7人のグループを編成
- ▶ ビジョン展開シートをベースに
  - ・各学年の **良いところ、悪いところ、こうあってほしいこと**を付箋紙に記入
  - ・良いところを発展させる取組と悪いところを改善する取組に**分類**
  - ・各学年の残された時間で、**何をどのレベルまで取り組むか**検討



# 研究指定校の実践 研修会で出された方向性

- ▶ 第1学年  
3年間を見通した、長いスパンでの指導  
生徒の適性に応じた指導の工夫の必要
- ▶ 第2学年  
教員側の姿勢の揺れが生徒に伝わる  
学校や学年としての方針をしっかりと持つ
- ▶ 第3学年  
行事や補習をはじめいろいろなところで今のままでは  
ダメだという危機感を共有  
生徒に語りかける時間の確保が必要

## ○教科会等

- ▶ 伸び悩む生徒への指導  
生徒が**時間をうまく使える**指導方法を模索していく必要
- ▶ 上位者への指導  
**自主的な学習に切り替える**段階の見極めが大切
- ▶ 自然科学コースの指導  
コース独自の**行事や研修を通して**、教科間の機能的な連携を図り、効果的に教科指導を実施する。

# 全職員で学校目標を考えた成果

## ▶ 中間評価の重要性

- ・年度末を待たず、次年度への方策をじっくり話し合うことができる。
- ・時間的な余裕の中で、各自が意見を表明する機会を得ることで、当事者意識が強くなる。

## ▶ 研修会の意義

- ・話し合いを通して同僚意識が強くなり、職員間で本質的な課題が共有できる。
- ・次年度への方策を職員が主体的に考え始める。
- ・職員間の風通しがよくなる。

## ②アンケートに関する実践例

アンケート結果を、自己評価の材料として適切に活用するために

### 現状

保護者のアンケートに「わからない」という回答が多い



学校への関心に結びついていない

## 外部評価アンケート 修正前

観点が複数あり、回答しにくい例

○校長のリーダーシップのもと、全職員が創意を凝らし、魅力ある学校づくりに取り組んでいる。

○教師は専門知識が豊富であり、授業内容が信頼できる。

○学校は子どもをよく理解しており、子どもにあった生徒指導をしている。

○学校は高校生のマナーや社会規範を身に付けさせることや、相応しい服装、頭髪等の徹底を図っている。




## 外部評価アンケート 修正後

見直した質問例

○学校の教育目標である「文武両道」に共感できる。

○学校は高校生としてのマナーや社会的規範を身に付けさせる指導を行っている。



## ②アンケートに関する実践例

**質問項目の見直し** → 質問項目の焦点化  
言葉の精査  
記述欄の追加

**成果: アンケートを通して、保護者の教育活動  
への関心を引きつける結果につながった。**

## ③学校関係者評価に関する実践例

○学校関係者評価委員の意見を、学校改善につなげるために

・**メンバー構成における工夫**

→ 小中学校の職員にも依頼

小中学校からの新しい視点

例) 高校のHP等が、小中学生・保護者に  
わかりにくいという指摘。

→ **全面的にリニューアルへ**